

チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	農村地域や、ニュータウンなど異なる地域の特性に応じた交通ネットワークの構築と外出支援のあり方について	三田市
アイデア名 (注1) (公開)	地域自主組織の構築による日常的な共助の実現		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	Code for Kobe		
チーム属性 (公開)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム <input type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム <input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数 (公開)	12名		
代表者情報	氏名 (公開)	高橋 宗開	
メンバー情報	氏名 (公開)	豊田 裕貴、西谷 友彬、川井 浩陽 金 栄愛、搦本 明弘、島津 明香 内藤 真貴子、宮本 光晴、益田 敏治 新井 イスマイル	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

（1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

- * 市民同志で、自治会単位で防災・福祉一体型の地域自主組織を構築する。
- * 高齢や障がいなどの事由で移動困難な方を「おねがい会員」、移動困難な方を助ける方を「まかせて会員」として設定する（希望制）。
- * 1 人のおねがい会員に対するまかせて会員は 4 人。まかせて会員は日々の見守り、声かけ、挨拶を行う。
- * 旅行・入院など不在にするときは会員同士連絡し合う。
- * モビリティについてもこの中で実現可能とする。
- * 地域自主組織には行政職員も同じ市民として複数名混ざる。

(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、**2 ページ以内**でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

- * 新たなモビリティについては 6 年以上前から検討されているが進んでいない。（[新たな市民生活導入検討指針<平成 23 年 8 月>](http://www.city.sanda.lg.jp/kotsu/koutuu/h25_commubus_sisin.html))
- * 市にヒアリングした結果、今困っている人が実はいないとのこと。調査も来年にならないと結果が出ない。
- * しかし将来的に移動困難者が増えることを懸念されている。
- * 今後の三田市は老年人口だけが増加していく。
[RESAS による三田市の人口構成実績と推計](<https://resas.go.jp/population-composition/#/transition/28/28219/2015/2/8.564784618783527/35.20575852/135.1285256>)
- * 運転免許返納件数は年々増加。（[運転免許返納件数](<http://www.mlit.go.jp/common/001142171.xlsx>))
- * クルマ移動制約者(阪神地域)が、2020 年には 56.4%に。（[地域計画～阪神地域版～<平成 26 年 8 月>](https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks05/documents/chiikikeikaku_hanshin.pdf))
- * 現時点では三田市は類似団体平均と比較すると財政面での余裕はあるが、一気に高齢化がすすみ、医療費、介護福祉関係費用等が急増する。これら高齢化に伴う費用の急増を抑える仕組みが必要と考えられる。[RESAS による三田市の主要財政指標比較レーダーチャート](<https://resas.go.jp/municipality-finance/#/area/8.564784618783527/35.20575852/135.1285256/28/28219/2/2014/1>)
- * Uber はタクシー業者との兼ね合いなどハードルが高い。
- * バス業者にアプローチするも、協力が得られず困難。
- * 市民が日常生活の中で賄える仕組みを構築する必要がある。
- * 島根県雲南市の地域自主組織「新市（しんいち）」では「おねがい会員、まかせて会員」による共助が実現しており、これを参考にした。（[行政ズ雲南市視察報告](<https://medium.com/@takahashi.mune/行政ズ雲南市視察-54cdb23b27f1>))

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大ききな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大ききな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

- * まずは地域自治会の中で出来そうところから「おねがい会員、まかせて会員」の設定を試みる。
- * 両会員間の距離により、利用できる簡易的な連絡手段を決める。
- * 一旦やってみてから、他の自治会でもできそうであれば紹介していく。
- * 評価項目を策定する（交通状況、自治会内でのコミュニケーション状況、知ってる人の数など）。
- * 期間を定めて（1～3 か月）モニタリング、結果検証。
- * 良いところがあればさらに他の自治会に水平展開。
- * 雲南市にも紹介し情報交換を行うとともに、他市へも展開する。